

下関リハビリテーション病院 季刊誌

オレンジ

地域に寄り添い、地域と共に

Shimonoseki Rehabilitation Hospital



菊池溪谷 (撮影者：綾部 様)

基本理念

手には技術、頭には知識、患者様には愛を

CONTENTS

- | | |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 2P 感染症のお話し | 6P 地域リハビリテーション活動支援事業
作業療法士症例検討会 |
| 4P オンライン面会 始めました | 7P 自宅で出来る簡身体操 |
| 5P 第55回 日本脊髄障害医学会に参加
高次脳障害勉強会 | 8P 医療連携室より
アクセス |

感染症のお話し 感染症ってなに？

 感染症とは？

ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入して増殖し、発熱や下痢、咳等の症状がでることをいいます。感染症には、インフルエンザのように人から人にうつる感染症のほかに、破傷風や日本脳炎のように人から人にはうつらず、傷口から、あるいは動物や昆虫から、感染する感染症も含まれています。感染して発病する場合もあれば、ほとんど症状がでずに終わってしまう場合もあります。また、一度症状がでるとなかなか治りにくく、時には死に至るような感染症もあります。



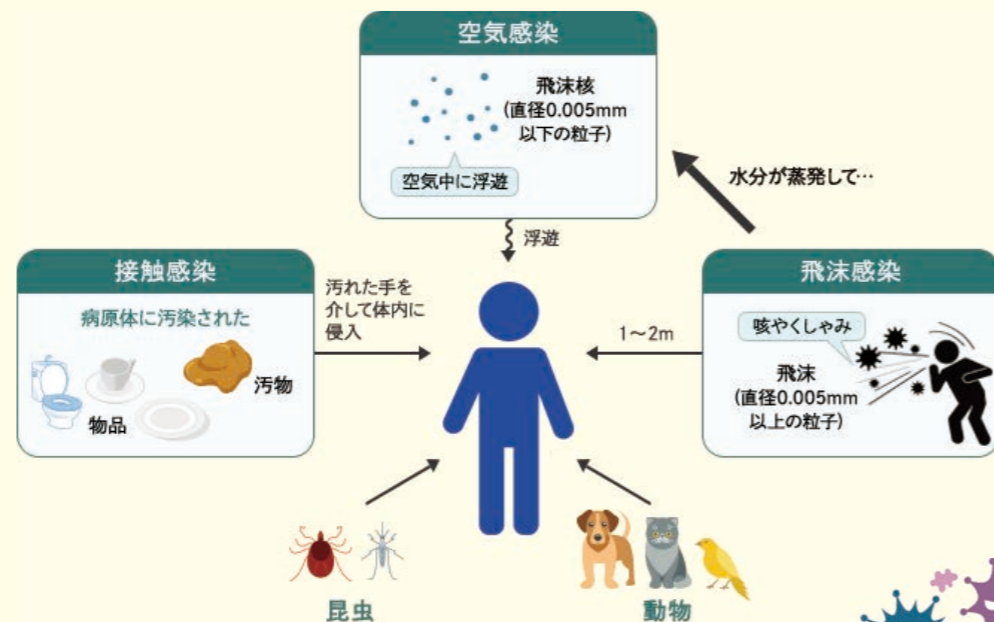
 感染経路

感染症によって、病原体の体内への侵入方法が異なります。大きく2つに分類すると、人からうつる感染症と、人以外からうつる感染症があります。

人からうつる感染症には、「接触感染」「飛沫感染」「空気感染」の3つの経路があり、感染症を予防するためにはそれぞれにおいて感染経路を断ち切るための対策が必要になります。

 感染症の種類

感染症の種類	主な症状
インフルエンザ	発熱、鼻水・鼻づまり、咳、悪寒、関節痛、頭痛、倦怠感
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、関節痛、頭痛、倦怠感、嘔吐、下痢・腹痛
ノロウイルス	嘔吐、下痢・腹痛、発熱
アデノウイルス	鼻水・鼻づまり、咳、発熱、目の充血、嘔吐、下痢・腹痛
麻疹（はしか）	発熱、鼻水・鼻づまり、咳、目の充血
手足口病	発しん、発熱
腸管出血性大腸菌感染症	下痢・腹痛、発熱
RSウイルス	発熱、鼻水・鼻づまり、咳
風しん	発しん、発熱、咳
ロタウイルス	嘔吐、下痢・腹痛、発熱
リンゴ病	発しん、発熱、咳
溶連菌感染症	発しん、発熱、咳、倦怠感
おたふくかぜ	発熱




 手を洗うタイミング

日々の生活での手洗い・消毒等の手指衛生管理は、大切な感染症対策の一つです。十分な手指衛生ができていないか確認してみましょう。

- 食事準備の前
- 食事準備の後
- 食事の前
- 食事の後
- トイレの後
- 鼻水や痰、それらで汚れたティッシュに触れた後
- 傷口に触れる前
- 傷口に触れた後
- 汚れた衣類・寝具に触れた後
- 吐物や便を処理した後
- 部屋の掃除をした後
- 手袋を脱いだ後
- 外出先から帰宅した後
- マスクを外した後
- 多数の子供がいる部屋への入退室時
- ペットに触れた後
- ペットフードに触れた後
- 共有のおもちゃに触れた後




 手洗い石けんや消毒薬の設置場所

どんなところに設置するとよいのでしょうか。設置場所を確認してみましょう。

- 建物の出入口
- トイレの近く
- 食事を準備する場所の近く
- 食事をする場所の近く
- 病人がいる部屋、あるいは部屋のすぐ外



 マスクの使用方法

介護・看護時のマスクの使用は、大切な感染症対策の一つです。適切にマスクを使用できているか確認してみましょう。



- 顔にフィットするものを選ぶ
- 裏表を確認し、鼻の形状にノーズクリップを合わせ、プリーツ部分を広げて鼻から顎の下まで覆っている
- 息苦しいからといって、ずらして着用しない
- 使用後のマスクを廃棄した後、手指衛生を行っている
- マスクを外す時は、汚染されている可能性がある表面に触れないように、両手で耳の紐を持って外している
- マスク、手袋等を外す時、手袋 → 手指衛生 → ピンリエプロン又はガウン → マスク → 手指衛生の順番で外している

院長 林 研二

「オンライン面会」始めました

思うように病院内に入ることが出来ない今、入院患者様とご家族様の安心につながる対策として「オンライン面会」を開始しました。



当院ホームページはこちらから！

オンライン面会受け付けます

予約はこちらから

完全予約制

※当院ホームページのこちらのバナーから予約ができます！

対象者

入院患者様のご家族様のみ
2名（第二親等まで）



面会日時

月曜日～木曜日（祝日を除く）
13:00～17:00
※面会時間は15分間です。

※オンライン面会は完全予約制となっております。

面会場所

ご家族様は1階待合室
患者様は病室より

ご予約方法

当院ホームページより3日前までにお申込みいただけます。

記念すべき オンライン面会第1号

ご家族様に伺いました

オンライン面会の時間（15分間）はいかがですか？

ちょうど良いです。

オンライン面会を行う場所はいかがでしたか？

良かったです。

オンライン面会をまた利用したいと思いますか？

はい、是非また利用したいです。

オンライン面会の感想をお聞かせください。

画面がもっと大きければ良かったです。

患者様のとても嬉しそうな笑顔が印象的でした。多くのご家族様はオンライン面会終了後に、次のご予約をして帰られます。ぜひご利用ください。



オンライン面会をご利用された方は、患者様もご家族様も大変喜ばれています。



医事課 副主任 石本 受付

第55回 日本脊髄障害医学会に参加して



9月5日、第55回脊髄障害医学会にて発表させていただきました。今回は新型コロナウイルス感染拡大の現状を鑑み、リモート（Web 発表）で参加しました。

発表内容は、過去5年間で当院へ入院された脊髄梗塞患者様の経過についての報告です。脊髄梗塞は稀な疾患であり、回復期リハビリテーション分野にお

対象	
期間	2015年4月～2020年3月に当院に入院した、脊髄梗塞患者13例
性別	男性7例、女性6例
年齢	72±14歳
発症から当院入院までの日数	26±8日

↓

発症原因、損傷高位、深部感覚の有無、麻痺の推移（改良Frankel分類）、FIM改善度について検討を行った。

ける報告が少ないことから今回の発表に至りました。麻痺の推移や FIM（機能的自立度評価法）改善度などを用い、当院入院時から退院時までの経過や日常生活動作における予後について考察しました。

脊髄障害医学会での発表は初めての経験でしたが、小川先生をはじめ、諸先輩方からの熱心なご指導により発表させていた

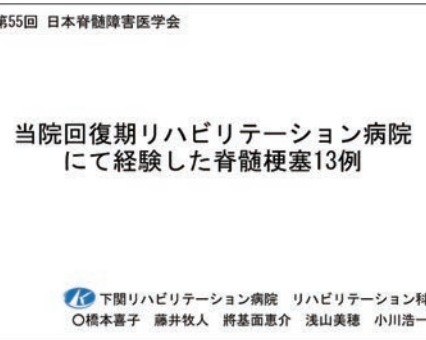
退院時における麻痺の改善度

入院時改良Frankel分類	退院時改良Frankel分類											
	A	B1	B2	B3	C1	C2	D0	D1	D2	D3	E	
A 症例1	●											
A 症例2		●										
A 症例3			●									
C1 症例4												
C1 症例5												
C1 症例6												
C1 症例7												
C1 症例8												
D0 症例9												
D0 症例10												
D1 症例11												
D1 症例12												
D3 症例13												

だくことができました。今後も、今回の経験を活かしより知識を深め、患者様に還元できるような日々研鑽を積みしたいと思います。



リハビリテーション科 理学療法士 橋本 喜子



院内勉強会『高次脳障害勉強会』を行いました

9月8日に当院の高次脳チームによる高次脳機能障害スクリーニング検査の勉強会を行いました。

高次脳機能障害とは、脳卒中や頭部外傷によって脳がダメージを受けることで物事を効率良く遂行出来なくなる、注意力が低下する等の症状を呈し日常会話に影響を及ぼします。高次脳機能障害の有無は患者様を見ただけでは分からないことが多く、呈する症状は個々の患者様によっても異なる為、高



高次脳障害勉強会の様子

次脳機能障害の有無や症状を把握する為の高次脳機能障害スクリーニング検査は重要な評価となります。

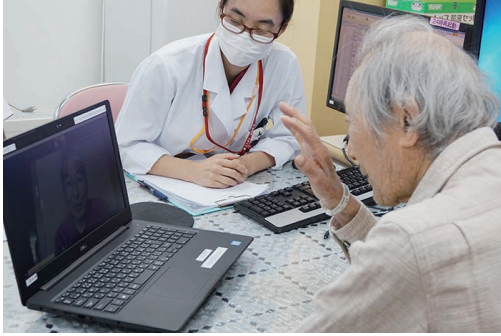
今回の勉強会は主に入職1年目

のリハビリスタッフを対象に行いましたが、今後も高次脳機能障害に関する勉強会を高次脳チームで主催していき患者様により良いリハビリテーションを提供出来ればと思っています。



リハビリテーション科 言語聴覚室 副主任 大畑 智志

医療連携室より

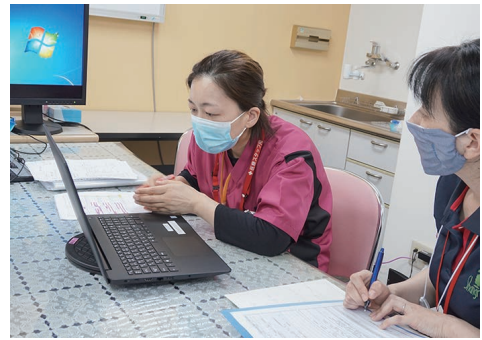


「直接会って話せたみたいでした。元気な姿を見てよかったです。」
「また1カ月の様子を楽しみにしています」と仰っていただきます。

今回は、オンライン面談についてです！

当院では「面会ができない状況が続いておりま

現在、ZOOMアプリを用いてオンライン面談を行わせていただいています。その中でご家族からは、

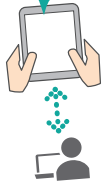


退院後の生活について患者様ご家族様同士が相談したいと仰られることも多いです。

現在、各階の面談室でのオンライン対応となっております。(申し訳ございませんが、病室からつなぐことができない状況です。)

オンラインで顔を見ながらお話していただきたく、ど

オンライン面談
できます。



オンラインでの面談を可能にしました。

※写真は全て患者様とご家族様の同意を得て掲載しています。

ど



インターネットに接続可能なパソコンもしくはスマートフォンをお持ちでない方からは、直接会わせてほしいと仰られます。そこで、iPadを用いてオンライン面会を行わせていただくことにしました。詳しくは本誌4ページに掲載しておりますのでご参考ください。

医療ソーシャルワーカー
主任 上野純子



上記以外のことでも何かお困りごとやご心配なことがございましたら、お気軽にMSWまでご相談下さい。

相談受付

TEL: 083-232-5811 月曜日～土曜日(祝祭日のぞ) 9:00～17:00
メールでのご相談: renkei@shimoreha.jp

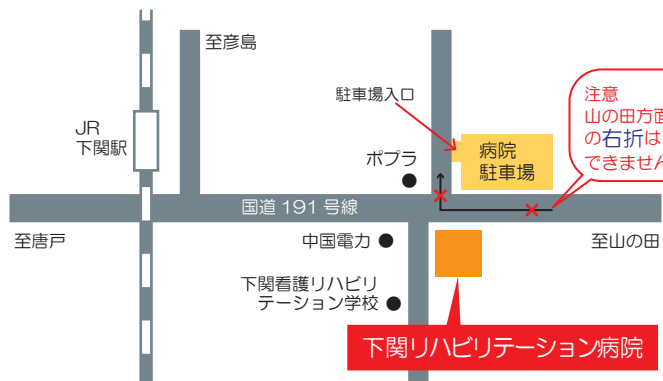
表紙の写真 撮影者コメント: 熊本県菊池市の菊池川の源をなす菊池溪谷の秋の風景です。

一般社団法人 巨樹の会
下関リハビリテーション病院

〒750-0064 山口県下関市今浦町9番6号
TEL:083-232-5811
FAX:083-232-0219
URL:https://www.shimoreha.jp
Mail:info@shimoreha.jp

アクセス方法

- JR 下関駅より徒歩5分
- サンデン交通竹崎バス停より徒歩1分



下関リハビリテーション病院